

公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会

平成29年度 事業報告書

1. 公益社団法人としての事業推進

公益社団法人日本重症心身障害福祉協会として、重症心身障害児者の福祉の向上並びにその家庭の福祉の増進に寄与することを目的として、公益事業を始めとした各事業の推進を図った。

先ず、重症心身障害児者施設入所利用者だけでなく、在宅の重症心身障害児者及びその家族に対する支援のより充実を図るため「医療的ケア児への支援強化」や「重症心身障害児者のコーディネーターの育成に向けた支援」の取り組みを強化した。

また、平成30年度の「診療報酬改定」及び「障害福祉サービス等報酬改定」に向けて、重症心身障害児者施設における状況の把握及び諸課題への組織的な取り組みを図った。

さらに、重症心身障害児者施設における「療育活動の質の向上」が求められていることから「療養介護のガイドライン」作成のための特別委員会を設置した。また、職員の育成のための職員研修での普及、学会や研究会をさらに推進、強化を図った。

2. 諸会議の開催

当協会の事業について、重要案件を審議し執行するため、次の会議を開催した。

(1) 総会（定時総会）

平成29年5月17日（水） 北海道旭川市

(2) 理事会

第1回 平成29年 4月23日（日） 東京都中央区

第2回 平成29年 5月17日（水） 北海道旭川市

第3回 平成29年 7月 7日（金） 東京都中央区

第4回 平成30年 3月22日（木） 東京都中央区

(3) 各種委員会の開催

①学術委員会

第1回 平成29年 7月17日（月） 東京都中央区

第2回 平成29年10月19日（木）、20日（金）
神奈川県横浜市

② 人材育成・研修委員会 専門看護師部会

第1回 平成29年 5月17日(水)、18日(木)
北海道旭川市

第2回 平成29年10月19日(木)、20日(金)
神奈川県横浜市

第3回 平成29年10月31日(火)、11月1日(水)
宮崎県宮崎市

③ 療養介護のガイドライン作成特別委員会(ワーキンググループ)

第1回 平成29年12月16日(土) 東京都中央区

(4) 全国重症障害児(者)を守る会、国立病院機構国立重症心身障害協議会、
日本重症心身障害福祉協会 連絡会議

平成29年 6月11日(日) 石川県金沢市

3. 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会等の開催

① 全国施設協議会

日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会を厚生労働省、北海道、旭川市の後援を得て平成29年5月18日(木)から19日(金)の2日間、北海道旭川市において開催した。

本会議は重症心身障害児者の療育に関する調査研究並びに施設の運営上の諸問題及び職員の研修等について協議を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的に開催している。

平成29年度は全国126の当協会会員重症心身障害児者施設から、施設の長、事務(局・部)長及び総看護師長等並びに行政機関の担当者372名の参加があった。

第1日目は、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 室長補佐 小島裕司氏による「障害児支援」についての行政説明、北海道療育園理事長 岡田喜篤氏による「重症心身障害児者福祉とその施設のあり方」という演題での特別講演が行われた。

また、「入所者のこれからの在り方を考える」をテーマにシンポジウムが行われ、最初に堺市立重症心身障害児(者)支援センターの児玉和夫センター長による基調講演が行われた。

シンポジストの方には、みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家の福田雅文施設長より「共に生きる」・名護療育医療センターの泉川良範氏施設長より「地域に生きる施設」・心身障害児総合医療療育センターの北住映二所長より「日中活動、外部資源の活用・社会参加、施設運営の工夫など」・東京都立東部療育センターの岩崎裕治副施設長と藤野孝子養育部長より「高度な医療支援を必要とする重症児・者と療育」・大阪発達総合療育センターフェニックスの船戸正久施設長より「医療型障害児入所施設における看取りの医療—多職種協働でどのように安らか

な看取りを支援するか？」についての各シンポジストの講演の後、フロアとの質疑応答が行われた。

第2日目は、当協会各委員会より、主に平成28年度の活動報告、平成29年度の東日本・西日本重症心身障害施設協議会報告。全国心身障害児日中活動支援協議会（在宅支援部会において報告）の報告が行われた。

②日本重症心身障害福祉協会東日本・西日本施設協議会

第44回東日本施設協議会

平成29年10月26日（木）、27日（金）の2日間、北海道札幌市において開催し、東日本重症心身障害児者施設の58施設154名の参加があった。

第38回西日本施設協議会

平成29年11月16日（木）、17日（金）の2日間、滋賀県草津市において開催し、西日本重症心身障害児者施設の63施設221名が参加があった。

本会議は、重症心身障害児者施設の運営上の諸問題及び重症心身障害児者の療育に関する情報交換等を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的に開催しているものである。

4. 重症心身障害児者施策への対応

平成30年度の診療報酬改定及び障害福祉サービス等報酬改定に対応するため、医療問題検討委員会及び福祉問題検討委員会の連携の下に重症心身障害児者施設における諸課題等への対応・対策を検討し、各施設にアンケート等協力を願った。

また、1. に記した「療養介護のガイドライン」作成のための特別委員会を設置し、作成のためのワーキンググループを組織し検討を行った。

5. 全国重症心身障害児者施設職員研修会の実施

重症心身障害児者施設に勤務する各種職員を対象に実施しているが、研修会開催初日は公開講演として在宅重症心身障害児者に関わる方をHPにて公募し参加いただいている。

平成29年度は、職員の資質向上を目的として下記の研修会を実施した。

なお、看護師コース、栄養士・調理師コース、医療技術管理コース、保育士・児童指導員等（療育職員）コース及び施設管理研究会コースについては、財団法人JKAの競輪公益資金補助事業として実施した。

(1) 看護師コース

平成29年9月13日(水)～15日(金) 大阪府大阪市 参加者119名

(2) 栄養士・調理師コース

平成29年10月4日(水)～6日(金) 大阪府大阪市 参加者133名

(3) 看護管理研究会コース

平成29年10月31日(火)～11月2日(木)

宮崎県宮崎市 参加者 137名

(4) 医療技術管理コース

平成29年11月22日(水)～24日(金) 大阪府大阪市 参加者 178名

(5) 保育士・児童指導員等(療育職員)コース

平成29年12月6日(水)～8日(金) 大阪府大阪市 参加者 100名

(6) 施設管理研究会コース

平成30年1月24日(水)～26日(金) 大阪府大阪市 参加者 220名

6. 第28回重症心身障害療育学会学術集会の開催

重症児施設療育研究大会を平成17年度から重症心身障害療育学会に改めて開催している。第28回重症心身障害療育学会学術集会を厚生労働省、神奈川県、横浜市、読売光と愛の事業団等の後援を得て、平成29年10月19日(木)、20日(金)の2日間、神奈川県横浜市において開催し87題の演題であった。

また、参加者は2日間で491名であった。

7. 在宅重症心身障害児者の支援者育成事業

在宅重症心身障害児者の支援者を育成するためのプログラムの周知及び活用を図った。

さらに、医療的ケア児等コーディネーターの育成支援や在宅医療及び障害福祉サービスを必要とする障害児等の地域支援体制構築への支援を推進した。

8. 重症心身障害児者施設永年勤続者の表彰

重症心身障害児者施設に勤務する10年以上の永年勤続者を表彰した。

平成29年度の永年勤続者は542名であり、定時総会時に行う永年勤続者表彰式で102名の参加者を表彰した。

9. 日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師制度の充実と認定重症心身障害看護師合格者の認定証の授与

平成24年度から重症心身障害看護の質の向上、認知度のアップ、看護師の確保と育成に繋げ、重症心身障害児者とその関係者に適切な看護を提供し、重症心身障害児者のより良い生活・生涯に寄与することを目的として、日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師制度を実施し認定重症心身障害看護師合格者に認定書を授与してきたところであり、今後とも制度の充実を図ることとした。

平成29年度の認定者数は47名で16名の参加者に認定証の授与を行った。

なお、平成29年度からは5年を経過する者を対象に認定更新審査を実施した。

10. 全国重症心身障害児者施設実態調査の実施

本調査は、公法人立の施設の入所児(者)を対象とし、療育の向上に資するため、

毎年実施しているが、平成29年4月1日現在等での施設等の実態を調査した。

また、在宅支援関係調査については内容を見直し実施した。

1 1. 超重症児（者）、準超重症児（者）の実態調査の実施

平成29年度においても、超重症児（者）及び準超重症児（者）の実態調査を例年に準じ実施した。

1 2. 関係機関及び関係団体との連絡、連携の強化

関係機関との連携を密にして円滑な協会運営を図った。また、関係団体相互の連絡を密にして重症心身障害児者の療育に関する理解を深めて、相互の連携強化を図った。

特に、全国重症障害児（者）を守る会、国立病院機構国立重症心身障害協議会、日本重症心身紹介福祉協会の連絡会議を平成29年6月11日（日）石川県金沢市で開催した。

1 3. 広報紙の発行

広報紙「重症児とともに」を発行し、関係者及び関係機関等へ配布した。

また、紙媒体での配布とともにホームページへの掲載を実施した。